

政権交代で 野党連合政権を

すやま初美



PROFILE 1978年生まれ。愛知産業大学産業デザイン学科卒業。名古屋市中区の広告会社でデザイナーとして10年間勤務。2016年・2019年参院選愛知選挙区候補。現在、日本共産党愛知県委員会副委員長、党県新型コロナ対策本部長、党県ジェンダー平等委員会責任者。



すやま初美
ホームページ

発展
する

市民＋野党共闘

9月に行われた首相指名選挙で、日本共産党を含む野党はそろって新党・立憲民主党の枝野代表に投票。政権交代が現実的な目標として見えるところまでできました。また新型コロナ危機を体験して、自己責任の押し付けではなく公的責任を果たす政治への転換という大きな方向が共有されるようになり、市民と野党の政策の一致もすすんでいます。

暴走
する

菅政権

菅政権は、日本学術会議が推薦した会員候補105人のうち6人の任命を拒否。これは憲法23条の「学問の自由」を脅かす暴挙です。また、菅首相は自身の政治理念「自助・共助・公助」に関して「まずは自分でやってみる」(9/16総理記者会見)と説明しましたが、公助が仕事である国が自助に力点を置くのは役割放棄に他なりません。

VS

愛知7区の野党議席を引き継ぎます

7区内の市長・町長と懇談し、コロナ対策の要望をお聞きして県に届けるなど、7区の声を行政に届けています。



— ジェンダー平等カフェを主催 —

社会が押しつける“男らしさ・女らしさ”から全ての人が解放され、自分らしく生きられるジェンダー平等社会実現へ、学習カフェに取り組んでいます。

— 保健所と懇談 —

7区の地方議員団と共に保健所と懇談し、感染再拡大への備えとコロナ陽性者のサポートを市町村ができるよう、情報共有を求めました。

— 省庁交渉で声を届ける —

厚労省とZoomで交渉し、7区の高齢者施設で働く人の声を届け、介護・医療従事者への定期的なPCR検査を国の責任で行うことを求めました。



1

ケアに 手厚い社会を

介護、保育、障害福祉などの仕事を担っている方の賃金は、労働者平均の賃金より10万円も少ない状況です。医療、介護、保育など命を守る労働を大切にします。



2

人間らしく働ける 労働のルールを

非正規で働く方々がコロナ危機の犠牲をうけています。「使い捨て自由」の労働を広げてきた政治の責任です。この流れを逆転させ、正社員が当たり前、8時間働けばふつうに暮らせる社会をつくれます。



3

一人ひとりの学びを 保障する社会を

新型コロナのもとで「40人学級」の矛盾が噴出しています。教員を10万人増やし、子どもたちに少人数学級をプレゼントします。大学の学費を半額にします。



コロナ危機をのりこえて 新しい政治を

日本共産党

7つの提案

7

ジェンダー 平等の社会を

コロナ危機のもとで女性に犠牲のしわ寄せがいつています。また、一律10万円の給付は受取人を「世帯主」としたことで様々な問題も。「世帯主」規定を廃止します。



4

危機に 強い経済を

消費税10%で大きなダメージを受けているところに新型コロナが襲い、GDPは連続マイナスに。消費税を5%に減税します。内需と家計、中小企業に経済の軸足を移します。



6

文化・芸術を 大切にする国に

日本の予算に占める文化予算の割合は、フランスの9分の1です。文化・芸術を、人間が生きていくうえで必要不可欠なものとして、大切にしていって国づくりをすすめます。



5

科学を 尊重する政治を

日本の人口当たりのPCR検査数は世界で151位(10月時点)。政府が検査を絞ってきた結果です。政府はPCR検査数を増やし、その力で感染を抑え込むという立場に立ち、全面的な財政措置を行うべきです。



日本共産党はこんな政党です

人間が搾取されない 社会をめざす党

労働時間を大幅に短縮して
自由な時間を

貧富の格差の拡大、環境破壊などコロナ危機のもとで資本主義の存続が問われています。日本共産党は民主主義など資本主義の成果を引き継ぎ、一人ひとりの力が花開く本当に自由で平等な社会をめざしています。その展望を「日本共産党」という党名にこめています。

戦力不保持の 平和外交へ

連合政権には政策の
不一致点を持ち込まず

日本共産党は、自衛隊は違憲であり軍縮や平和外交などを行いアジアの国ぐにと安心して平和に生きていける状況をつくったうえで、国民合意で段階的に解消すべきだという立場です。ただ当面の野党連合政権では自衛隊を容認し、政府の憲法判断としては合憲という立場をとります。

どんな大国にも 言うべきことを言う

社会主義こそ人権を
何よりも重視すべき

中国のあり方が社会主義ではないこと、日本共産党はモデルとなる国がない未踏の道に行くことを綱領でも党大会でも明確にしました。「国家安全維持法」など香港での人権抑圧に対して厳しく抗議し、撤回を求めると、どんな大国でも道理に立つてモノが言える党です。

しんぶん「赤旗」が 「JCJ」大賞

日本共産党の調査能力を
存分に発揮

日本共産党が発行する「しんぶん赤旗」が『桜を見る会』私物化スクープと一連の報道で2020年度の日本ジャーナリスト会議(JCJ)大賞を受賞しました。日本共産党の地方議員や支部の草の根のネットワークの力と、1928年の創刊から「権力を監視する」姿勢を貫いた結果です。

